

Newsletter

Vol.48 2022.7.1

日本養護教諭養成大学協議会

日本養護教諭養成大学協議会
ニューズレターVol.48
会 長 遠藤伸子 (女子栄養大学)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	新規入会大学の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2022年度総会・講演・セミナーご案内・・・・・	2	会員校だより～北から南から・・・・・・・・	5
各委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・	3	協議会活動報告・事務局からのお知らせ・・・・・	6



会長あいさつ

会長 遠藤伸子
(女子栄養大学)

文科省の報告から、今年度の4月の始業時点で小中高等学校の教員が2558人不足したことがわかりました。そのため、小学校では担任不在のまま新学期を迎えたり、管理職や時短勤務になっている教員で代替したり、中高では教科担任が足りずに必要な授業を行えなかったなどの報道が相次ぎました。不足した要因として、産休・育休を取る教員やストレスなどによる病気休職者の増加、特別支援学級が多くなり必要な教員数が増えたことなどが挙げられています。しかし、それだけではありません。2021年度の全国公立小学校教員の採用試験の倍率は全国平均で2.6倍、地域によっては1倍を下回るなど、3年連続して過去最低となりました。つまり、教員になりたいという志願者が減り続けていることこそ問題であり、また、管理職になりたくない教員が増えたことこそ深刻な状況なのではないでしょうか。当然のことながら専門家は公教育の質が担保できないと警鐘を鳴らしています。国は働き方改革として、部活動指導の地域移譲をすすめたり、教員を助けるチーム学校を機能させるため、SCやSSWに加え、新しいところでは、医療的ケア看護職員、ICT支援職員、特別支援教育支援員、教員業務支援員など、学校教育法施行規則を一部改正し拡充を図ろうとしています。確かに膨張した業務量を減らし、教員の多忙感や疲弊感を無くすことは当面の優先課題ですが、教職に就きたいというインセンティブをいかに若者に持たせるか、その改革こそが重要だろうと考えます。

私事ではありますが養護教諭養成に従事し来年で20年になります。これまで多くの養護教諭志望の学生を卒業させてきました。大半が「子供の心身を守り育て

たい、子供達に寄り添い役に立ちたい」と熱望する志の高い人達でした。しかし養護教諭の採用倍率は高く、資質能力とも十分でありながら正規の養護教諭として採用されるまでに何年もかかった卒業生も少なくありません。なかには養護教諭を諦めて、他の仕事についた卒業生もおりました。2021年度公立学校の教員採用試験倍率は2.6倍であっても、それは養護教諭以外の話です。ご存じの通り養護教諭は7倍であり2020年度より上がっています。地域によっては依然として倍率が10倍、20倍というところもありました。結果、採用された養護教諭の先生方は実に優秀です。また、このコロナ禍にあって大変活躍をされていることが各種調査からもわかっています。なお、新型コロナだけではなく、養護教諭はその特性から考えても危機管理能力が高い職種といえると思います。子供の生命の安全を守り、心身の発育発達を守ることが難しい近年、養護教諭の管理職が増えることは良いと考えています。しかし、実際には、管理職になる養護教諭は極めて少ない状況です。様々な背景要因があると考えますが、今後は、養護教諭の人数が増えれば、確実に管理職になる人も増えることでしょう。養護教諭の複数配置は養護教諭養成にとっても長年の課題であり、加配の定数についてもこの15年改善されていません。せめて児童生徒が400人に養護教諭1人を加配すべきというような調査もあります。そのように考えると、まさに養護教諭の定員を是正する好機ではないでしょうか。

現在、文部科学省健康食育課のもと、養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議が開催され、「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に向けた方策について」が協議されています。

本会も所属する日本養護教諭関係団体連絡会の三木会長が委員として参加していますが、養護教諭の資質能力を担保するためにも定数は是正、過員対策を要望したいという構えで参加されています。会員校の先生方には是非ご理解ご支援を戴きたいと考えております。

2022年度総会、講演、セミナー(オンライン開催)のご案内

開催日時:2022年9月9日

今年度の日本養護教諭養成大学協議会総会ならびに講演・養成教育セミナーは、感染症対策を考慮し、昨年度のアンケート結果における会員の希望を踏まえ、期間を1日に短縮して、オンライン開催といたします。プログラムは以下のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

2022年度総会・講演のご案内

*日時：2022年9月9日（金）

*開催方法：オンライン開催

*日程

9:30 開会

9:30～9:40 開会の辞、会長挨拶

9:40～10:45 総会

11:00～11:45 講演 オンデマンド配信
松崎美枝氏（文部科学省健康教育・
食育課 健康教育調査官）

12:30～16:30 養成教育セミナー

16:30 閉会の辞

別紙資料ならびに事前にお送り
するGoogleフォーム等から
お申込みください。



2022年度養成教育セミナー

日時：2022年9月9日（金）12:30～16:30

オンライン開催

ファカルティ・ディベロップメント（FD）検討委員会 担当
テーマ 養護教諭養成大学教員の授業実践力の
向上ー反転授業の設計ー

1. 趣旨

令和の日本型学校教育として求められている「個別最適な学び」の実現に向けた一つの方策として、今後、反転授業が重要になります。コロナ禍によりICTを活用した授業が可能になった今こそ、反転授業を活用し、学生に主体的で深い学びを提供することができるため、本セミナーで模擬的に授業設計をすることで、会員の授業実践のスキルアップに貢献したいと考えています。

2. 目的

- ①反転授業を設計する際の具体的な行動イメージを持つ
- ②反転授業を用いた授業外学修の設計イメージを持つ
- ③反転授業の利点と課題を理解し、効果的な活用について考える

3. 日程（予定）

12:30-14:00 講演 熊本大学 川越明日香氏

14:20-15:50 グループワーク

15:50-16:10 全体発表

16:10-16:25 まとめ

※Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用し、科目区分別にA養護概説、B健康相談活動の理論・健康相談活動の方法、C看護学（臨床実習及び救急処置を含む）の3グループに分かれて実際に反転授業を設計するグループワークを行います。申し込みの際に希望グループの調査を行います。セミナーの詳細につきましては別紙資料をご確認ください。
多くのご参加をお待ちしております。



各委員会活動報告



養成制度検討・ カリキュラム検討委員会報告

委員長 大川尚子 (京都女子大学)

本検討委員会では、協議会独自の「養大協版コアカリ2020」を活用することで、養護教諭の資質の担保につながると考え、今期の検討委員会の活動は、コアカリキュラムの効果的な活用方法を検討することを目標としています

第1回検討委員会を6月4日(土)に開催し、今年度、検討委員の大学の学生を対象に「コアカリ活用についての実態調査」を実施するための、倫理審査や質問紙調査の内容を検討しました。

研究テーマを、「教職課程修了時における養護教諭としての資質・能力に関する一考察—養護教諭養成課程コアカリキュラム『養大協コアカリ2020』を活用して—」とし、教職実践演習を履修する4年生を対象に、授業の後半に調査する予定です。

養成系の違いに関わらず、養護教諭を目指す学生が十分学んだことは何か、学習が不足していることは何か、明らかにします。そこから、学ぶ側である学生の課題、教える側である教員の課題、学ぶべき内容等を把握し、次につなげていくことを考えています。

広報・渉外委員会報告

鈴木裕子 (国士舘大学) 亀崎路子 (杏林大学)

今年度は、ニューズレターを年間2回発行します。本号である48号には、巻頭言、年度総会、養成教育セミナー等のご案内、各種委員会報告、協議会活動報告とともに、新規会員校の紹介、会員校からのたよりなどを掲載しております。今後も、会員校からの近況報告などお寄せいただき、交流を深める場としていけたらと考えております。

ホームページは、役員会の活動報告、養護教諭養成にかかわる行政通知などを掲載してまいります。お役に立てる情報を発信できるように努めてまいりたいと思います。会員の皆様からのご連絡をお待ちしております。

ファカルティ・ディベロップメント (FD) 検討委員会報告

委員長 鎌塚優子 (静岡大学)

2021年度

第2回委員会

日時:11月29日(月)17:00~18:40 オンライン開催

内容:活動計画案の検討

参加者:小川、鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

第3回委員会

日時:2月3日(木)17:00~18:50 オンライン開催

内容:シラバス作成の留意点及び反転授業に関する勉強会の開催

参加者:小川、鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

第4回委員会

日時:3月28日(月)13:00~16:10 オンライン開催

内容:オンデマンド型研修(授業づくりの基礎基本を学ぶFDプログラムの開発)の役割分担及び個別最適な学びに関する勉強会の開催

参加者:小川、鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

2022年度

第1回委員会

日時:4月23日(土)13:00~17:00、24日(日)

10:00~13:00 会場:Comfort Space品川

品川ステーションビル 10階 B号室(ハイブリッド開催)

内容:セミナー計画及び進行シミュレーション、オンデマンド型研修コンテンツの内容検討

参加者:鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

第2回委員会

日時:6月1日(水)11:30~12:30 オンライン開催

内容:オンデマンド型研修コンテンツ動画試作品の検討

参加者:鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

※オンデマンド型研修コンテンツについては、2022年に1本HPに掲載いたしました。今後引き続き8月、12月、2023年3月ごろに掲載予定です。詳細につきましては、同封のチラシをご確認ください。



新規入会大学の紹介

「3年ぶりの教員養成に関わって」
中島敦子（千里金蘭大学）

本学に赴任してから3年目の令和4年度から、看護学部看護学科に養護教諭養成課程が出来ました。看護学科は15年目を迎え、看護師・保健師・助産師・養護教諭を養成することになります。現在、養護教諭に直接関わる専門科目を担当しているのは一人のため、いつも何かと忙しくしていますが、学校現場での30年間の経験を活かして学生指導に当たっています。また、他学部の教員採用試験の教職教養指導において、学校保健安全関係の講義もしています。

養護教諭養成課程の学生以外に、学校保健安全関係の内容を指導していますと、養護教諭と担任や管理職、家庭等との連携がとても大切であると痛感します。このことは、学校現場に勤務していた時も同様でしたが、今、養護教諭養成や他学部の学生指導という間接的な視点からも、その重要性を痛感しているところです。子どもたちを取り巻く現状課題は多岐に渡るため、チーム学校の一員として、その専門性を発揮できるような養護教諭を養成していくためには、何をなすべきか思案しています。皆さんと一緒に、考えていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願いいたします。

「看護学を基盤にして」
沖西紀代子（県立広島大学）

県立広島大学は広島県内にある3つのキャンパス（広島・三原・庄原）からなり、主体的に考え、課題解決に向け行動できる実践力、多様性を尊重する国際感覚や豊かなコミュニケーション能力を身に付け、生涯学び続ける自律的な学修者として、地域創生に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目指しています。

保健福祉学部は、海、山など豊かな自然にかこまれた、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれた三原市にあります。保健医療福祉職を養成する5コースから成り、1年次から多職種の理解と連携について学びを深めることができます。2021年度より看護学コースに養護教諭一種免許が取得できる課程を設置しました。

養護教諭一種免許取得のために必要な教職科目、養護に関する科目を1年次から履修するカリキュラムになっています。2021年度入学生は看護学コース63名のうち11名が養護教諭を目指して履修をしています。3年後に看護学を基盤とした主体性のある養護教諭を学校現場に送り出すことができるよう、担当者一同模索しながら進めています。

「長野の地から、こんにちは」
長谷川久江・藤井智恵美
（清泉女学院大学）



清泉女学院大学看護学部看護学科は、2019年4月「人と地域と未来と“つながる”キャンパス」をコンセプトに、長野駅東口に開設されました。1階のピラールテラスは開放的で、地域に向けたイベント会場として利用することもできます。本学は長野県唯一のカトリック教育を基本に“清く、正しく、愛ふかい「こころ」”をモットーに、『共に生き、学び、温かなケアを実践する』看護師と養護教諭の育成を目指しています。

養護教諭一種免許を取得するためには、1年次より教職課程の科目を履修し、更に3年進級時に選抜があります。看護師国家試験受験資格取得との両立に向け、一層の覚悟と努力が必要となります。現在1期生10名が養護教育実習のため、学校教育現場で実践を通して学びを深めています。長期化するコロナ禍の生活は子どもの健康課題を増々複雑化させています。学校保健活動において、看護の知識と技術を生かし子どもの心とからだの健やかな成長を支援し、常に学び続ける養護教諭の育成に精進してまいりたいと思ひます。

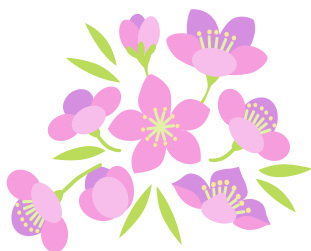
会員校だより～北から南から

北から南から、協議会会員の皆様より、養護教諭養成の近況、普段お感じになられていることや課題に思われていることなど、会員校からの便りをお寄せいただきます。協議会会員相互の交流が深まる場となれば幸いです。

地域で活躍する養護教諭育成を目指して 土江梨奈・原祥子（島根大学）

国立大学法人島根大学医学部看護学科は、山陰で唯一の養護教諭の養成大学です。本学科は、1998年度に開講し、今年度の卒業生で21期生となります。養護教諭養成は2004年度から始まり、2022年3月末において延べ156名が本大学で養護教諭一種の免許を取得しています。

本学科のカリキュラムの特徴は、看護学を柱とし、子ども達が社会・学校・家庭での生活における自らの健康課題を見つけ、それに対処していく力を育むことができるよう、さらには変化していく地域に対応することのできる養護教諭を育成することを目指しています。地域に唯一の養成大学ということもあって現場の養護教諭から期待も頂いています。実習を受け入れて下さっている県内の学校から多くの嘱託講師も迎え、養護教諭の養成と育成が協働して行われていることも特徴の一つといえます。卒業生との連携も進み、島根大学養護教諭研究会も発足しており、在校生への相談や進路支援のサポートとともに、互いに養護学の学びを深め、研鑽の場となる役割も果たしております。今後もこの地域とのつながりに重点を置き、養護教諭養成を継続していきたいと考えています。



看護系大学として養護教諭と交流の場を 森本安紀（滋賀県立大学）

本学部では2018年度から年に一回、養護教諭として活躍する卒業生と交流会を行なっています。この会では参加した卒業生の近況報告や学部生との談話会を中心にアットホームな雰囲気、将来につながる交流ができていました。しかし、COVID-19の流行により、対面での開催が難しくなったので、2020・2021年度はオンラインで開催しました。開催方法を変えても参加してくれる方たちのおかげで、未来の養護教諭を目指す学部生は、卒業生がどのように活躍しているかを知ることができ、大変有意義な時間になっています。2021年度は、看護系大学という本学の特徴を活かして、慢性疾患看護専門看護師の教員を講師として「1型糖尿病の児童に関する知っておきたい知識と病院との連携」という講演会も開催しました。今後も本学の専門性を活かした交流会を続けたいと思います。そして、卒業生だけでなく、地域の養護教諭の方々にも、身近なところに養護教諭が看護職と協働できる場があるということを知ってもらえるきっかけになればと思います。

持てる力を十分に発揮させたい 松永 恵（茨城キリスト教大学）

自分を大切にするように他者を大切にするという、建学の理念「隣人愛」を体現するような、あたたかな養護教諭が育ちます。養護教諭養成を担当する教員は一人ですが、学生は多くの仲間や教職員に支えられています。不本意入学が多く、持てる力を発揮して成功したという経験の少ない学生が多いです。しかし、この仕事が好きだから、とひたすら努力を重ね、一生で一番頑張り合格していきます。最近は病院に勤務した後、学校に戻ってくる卒業生もいます。社会人としての目覚ましい成長に驚きつつ、夢が実現するまで支えています。

多くの学生は現役で合格することができず、講師採用の連絡を待ちます。不安になると「大学院ないのですか」と言います。そこで大学院を作りました。教員の影響を受け、養護教諭の日々の対応に着目した卒業研究のテーマはユニークです。継続して研究したら面白いだろうと思っていました。しかし皮肉にも、今年に限って合格してしまい、進学者はゼロでした。戻ってきて一緒に研究する日を心待ちにしています。

協議会活動報告

第1回役員会

日時：2022年5月7日（土）13:00～15:40

オンライン開催

＜出席者＞池添、今野、遠藤、大川、亀崎、鎌塚、鈴木、竹鼻、松枝、三森（記録：三森）

＜協議事項＞①2022年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーについて ②総会資料案について ③ニューズレター計画案について ④活動報告書について ⑤2021年度収支報告ならびに2022年度予算について

＜報告事項＞各委員会活動について

（庶務 三森寧子）

養護教諭関係団体連絡会報告

本協議会は、養護教諭関係団体連絡会の副会長です。なお、現在、第2回まで行われている文部科学省健康教育・食育課主催の「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」ですが、養護教諭関係団体連絡会会長が委員として参加されています。

会員校評議員の皆様には、傍聴申し込みのURLなどご連絡させて戴いておりますので是非ご参加ください。

なお、2022年度の連絡会第1回会議は7月10日に予定されております。今後も動向につきましてはご報告して参りますので、ご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

（会長 遠藤伸子）

事務局からのお知らせ

■会員登録及び2022年度基本調査用紙のご提出ありがとうございました。ほぼ完了しました。まだお済でない会員校様につきましては、至急、以下URLよりご登録をお願い申し上げます。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfJZ3r_R25SAr3xNuhwmHNisGtI9I1PQCGhY76J3i69U0BJ2g/v](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfJZ3r_R25SAr3xNuhwmHNisGtI9I1PQCGhY76J3i69U0BJ2g/viewform?usp=sf_link)
[iewform?usp=sf_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfJZ3r_R25SAr3xNuhwmHNisGtI9I1PQCGhY76J3i69U0BJ2g/v/viewform?usp=sf_link)

■2022年度会費納入は、7月29日（金）までをお願い致します。

期限を過ぎた場合は、総会での議決権を失いますのでご留意ください（本会会則第5条）。

（事務局 遠藤伸子）

会計より

今年度に入り、多くの会員校から会費の納入いただき、誠にありがとうございます。納入がまだの会員校におかれましては、7月末日までにお納めいただくよう、ご協力よろしく申し上げます。

9月に開催する総会・講演・養成教育セミナーは、昨年度に続いて業者の協力のもとオンラインでのライブ開催となります。昨年度の経験をもとに拡充するプログラムもあり、予算執行については、引き続き厳正かつ適切に執行いたします。

（会計 松枝睦美）

編集後記

先日、養護実習訪問指導に行ってきました。校長先生に現場の様子を伺うと、新型コロナウイルス感染症への対応に慣れてきた半面、学校の規模によっては、withコロナで今が一番苦しいとのこと、養護教諭の役割や養成教育に求められるものを考える機会となりました。会員校の皆様の地域ではいかがでしょうか。今年度もニューズレターを通じて会員の交流が深まり、お役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。（広報 亀崎路子）



日本養護教諭養成大学協議会

<http://www.j-yogo.jp/>

【事務局】女子栄養大学

TEL&FAX：049-282-3609（事務局）

Mail：yogojimu@j-yogo.jp